



秋空に ひびく慶寿の
祝いうた

この俳句は、祝いに参加された三沢の鈴木武男さん(95歳)が即興で詠んだものです。祝宴の雰囲気伝わってくる句で、ご本人の承諾を得て紹介させていただきました。

金崎区の宮前優さん(80歳)は、挨拶の中で、100歳を目ざして住よい

健康で長生きできるよう！ 皆野町慶寿の祝い

9月28日・29日の2日間、今年も総合センターに於いて慶寿の祝いが行われました。

皆野町のご元気に話されました。

“人生いろいろ思い出あれこれ”に綴られた皆さんの思いは、大事な家族、健康で長生きしたいという熱い気持ち、戦争というつらい経験をしたからこそ強い平和への願いが伝わってきます。これからも、一日一日を大切に、元気で長生きしてください。

常山 知子

*金剛石婚 7組 *金婚 25組

平成28年度慶寿祝い対象者数

H28.9.1 現在

	80歳	85歳	88歳	90歳	95歳	99歳	100歳	計
皆野	49	44	46	31	5	1	3	179
国神	20	9	13	14	3	1	0	60
金沢	7	5	2	3	0	0	1	18
日野沢	15	16	13	16	3	1	1	65
三沢	11	9	10	14	4	1	0	49
計	102	83	84	78	15	4	5	371

うち悠長ホーム (32人)

ちよびつと「5アンペア」

節電勉強会に参加

於 小川町

朝日新聞現役記者の斉藤健一郎さんは、東京電力福島第一原発事故をきっかけに電気の契約アンペアを40アンペアから「5アンペア」に変更し、電気に極力頼らずに暮らしていくという思いで、「5アンペア」生活を始めました。最初は、いつブレーカーが落ちるかビクビクの生活。

ドライヤー、トースターは使えない。エアコンは扇風機に、掃除機はほうき、電子レンジはむし器、ごはんはガスコンロで鍋炊きに、まさに「これは私

常山 知子

金子兜太先生の 97歳を祝う会

9月24日皆野文化会館で行われた97歳を祝う会は、秩父鉄道、西武鉄道に乘車された俳句好きの方々や、町民も多く参加されました。前半は、子どもたちによる郷土芸能、女性陣による秩父音頭の踊りが参加者に喜ばれました。

兜太のふるさと俳句特選、入選発表、講評。当日、句碑めぐり、投句の優秀作の発表と講評などが行われ、

の小さい頃の生活そのものです。今はあまりにも電気に頼りすぎています。「5アンペア」の生活はちょっと無理ですが、我が家の節電、出来るところから始めていこうと思いました。

尚、斉藤さんの一ヶ月の電気代は「三〇〇円平均」。「5アンペア」の生活は、現在結婚し二人になっても続いていきます。

誕生日祝いのセレモニーの後、兜太さんと黒田杏子さんによる俳句対談。兜太さんの子どものころは皆野町は彌が暴落し貧しかったこと、俳句に魅かれたことなど思い出が語られ、秩父音頭を3回も唄われました。



